



令和2年度 第6号 令和2年9月9日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

協 自 自
調 律 主

スクールコンセプト

一 校 一 風

ともに夢と希望を育む鶴川内中

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 2学期スタート，艱難多くとも，成長の姿を！

校長 中山 武広

夏休み期間に大きな事故もなく，無事，2学期をスタートすることができました。生徒一人一人が自覚をもって過ごすとともに，地域・保護者の皆様の見守りや声かけのおかげと心から感謝申し上げます。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて，2学期始業式で，生徒たちへの期待と激励に付け加えて，新型コロナの感染発生について考えてほしいことを話しました。以下，大意です。

鶴川内中ではまだ，感染1例目は出ていません。阿久根市でも1例目は出ていません。しかし，全国の感染拡大は収束せず，鹿児島県内でも感染発生が連日，報道されています。阿久根市，あるいは，本校で，1例目が出ることも時間の問題かもしれません。身近で1例目が出たとき，どう対応すべきでしょうか。

岩手県の話です。他のすべての都道府県で感染例が出ているにもかかわらず，岩手県だけはずっと感染者ゼロでした。それはとてもいいことなのに，岩手県民の皆さんは，「もしも自分が第1号になったらどうしよう」と不安に思うようになりました。親は，東京で暮らしている我が子に，「今は岩手に帰らないで」と言わざるを得ませんでした。岩手県知事が，「第1号になることを心配しないでください」等の声明を出すくらいでした。

そんな岩手県で，とうとう感染1例目が出ます。男性会社員です。7月29日に会社が感染を公表しました。その途端に，会社に誹謗中傷の電話やメールが殺到。1日に何十件も来て，その対応で仕事にならない状況となりました。

それが8月3日頃から変化します。会社にお見舞いの花が届くようになり，温かいメッセージが寄せられるようになりました。「1日も早い回復をお祈りします」「応援しています」「だれもが感染の可能性があるので，自分を責めないでください」等々の励まし。これによって，社内に安心感が広がり，職場の穏やかな日常が戻ってきたそうです。

もう1例，大型クラスターが発生した与論島の方々が，島外遠方からの温かい激励と支援により元気を取り戻しつつあるという話もしました。そして，もしも，身近に感染1例目が出たら，そのときこそ，「優しさ」と「思いやり」を発揮してほしいと結びました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

2学期は，本校教育活動の成果を生徒の成長の姿を通して発表する行事が多々あります。コロナに，熱中症に，台風と，誠に艱難多き中で，まずは体育祭です。本年度は，感染防止のため，規模を縮小し入場者を制限いたしました。当日，本校生徒37名の元気な声が，鶴川内の空高く，地域の皆様のもとまで響き渡ればと願うところです。今後とも，本校教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

行事予定

月	日	曜	9月～10月前半の主な行事
9	13	日	第74回体育大会
	14	月	振替休日
	16	水	SC体験(生徒全員)
	24	木	企業等訪問
	28	月	生徒集会
	29	火	文化芸術事業「狂言」
10	1	木	安全点検 地区駅伝大会
	7	水	教育相談①
	8	木	教育相談②
	18	日	部活動停止～21日
	21	水	中間テスト①
	22	木	中間テスト②
	26	月	生徒集会 DAC冒険教室
29	木	文化祭予行	
11	1	日	文化祭

3密を避け，手洗い・うがいを徹底し，熱中症予防に努め，充実した2学期にしましょう。

○ 体育大会についての案内及び事故防止等についてのプリントを熟読の上，観覧いただくようお願いいたします。

○ 9/29(火)の「文化芸術事業「狂言」」と10/26(月)の「DAC冒険教室」は家庭教育学級も兼ねて開催いたします。

お忙しい中ですが，参加くださるようお願いいたします。

努力目標

二学期の生活目標、学習目標を立てよう

一事徹底

健康管理をしっかりとし、熱中症予防に心がけよう

PTA奉仕作業 リサイクル活動



8月23日(日) 8月30日(日)
ご協力有難うございました

8月末の2日間、PTA事業部を中心にリサイクル活動及び奉仕作業が行われました。リサイクル回収の呼びかけ等で区長様、地域の方々に御協力いただき、今年度も27,007円の収益を得ることができました。収益金はPTA活動費として、大切に使用させていただきます。また、PTA奉仕作業では、花の植替えも含め、段取りよく進み、環境が美くなりました。ありがとうございました。

中学生会議



8月6日(木)
本校の取組も発表しました

第2回阿久根市中学生会議が行われ、市内中学校3校から代表が集まり、「いじめ問題を解決するためにはどうすればよいか」、「県外や外国の子供たちと交流をもつことをどう考えるか」について、協議しました。

2学期始業式



9月1日(火)
2学期の抱負を語りました

1年の青木想玖星さん、2年の若松夢月さん、3年の尾原拓哉さんが2学期の抱負を語りました。勉強にも学校行事にも熱い気持ちが伝わるものでした。聞く姿勢もよく、よいスタートにふさわしい式になりました。

受賞について

夏休みまでの受賞です。
おめでとうございます

阿久根市図画作品展 入選

山下和太瑠「古びた木」

山口優希「どこへいこうかな」

山下太一「いつもの二階の廊下」 野中美幸「お昼の自転車小屋」

青木椿花南「木もれ日 まぶしい通路」

宮崎亮輔「心の内側」

鹿児島県図画作品展 特選

宮崎智士「静かな教室」

夏季中学生男子ソフトテニス大会

2年団体 優勝

1年団体 準優勝



夏休みに入る君へ 「人生に自動ドアはない。扉を開くのは君だ。」

中国の古い「莊子」のなかにこのような話が載っている。

『紀省子という鬪鶏飼いの名人が、王から一羽の鬪鶏の訓練を仰せつかった。10日も経った頃、王が様子をたずねた。「どうだ、もうそろそろ使えるのではないかな？」すると紀省子は、こう答えた。「いや、まだでございます。今はやみくもに殺気立って、しきりに敵を求めております。」それから10日経って王がふたたびたずねると、こう答えた。「いや、まだでございます。他の鶏の鳴き声を聞いたり、気配を感じたりすると、たちまち鬪志をみなぎらせます。」また10日経って王がたずねると、今度はこう答えた。「もう、よろしゅうございましょう。そばで他の鶏がいくら鳴いても挑んでも、いっこうに動ずる気配もなく、まるで木鶏のように見えます。これこそ徳が充実した証拠です。こうなればしめたもの。どんな鶏でもかないっありません。姿を見ただけで逃げ出してしまうでしょう。』

ここに出てくる“木鶏”とは、強さを外に表さない最強の鬪鶏の例えで、他の鶏の鳴き声を聞いても平気で顔色も変えない。まるで木彫りの鶏のようで他の鬪鶏は戦わずして逃げてしまう。褒められても、けなされても態度が変わらない…。それほど充実し、余計な力みもなく泰然自若としているという意味。2学期は学校行事も多く、テストもたくさんやってくる。我、未だ木鶏たり得ずの精神でがんばりたいものだ。